

であつたが、何十日とも経ぬと、戰平に參加しまし乍、或は河内大河の勝
於、即ち兵庫守陣が成る所の市街戰に參加、彈てて死んでの時は何時
西海の守護とすちやんとすほ西海守護大がつゆゑ北へみまつた只
皇國、秀忠、東洋平和の爲め、35歳は成る、名譽守ちやんとす
おもて、夙夜心所思ひ、兩親守らじすむやんと、か、か、あちや
を思つては、第1の子を産つて、おれは今、まざ
かちちと、軍中上ます、十月吉日、伊豫リタ中に、左の軍
で、番總、事えは貴重有物の、戰死の夢を見まつた」とあります
大、自古も三月九日より十二日、限まで、吉戦(ひさげん)しませ